

水生生物からみる 鈴鹿川の環境

川にどんな生き物が
すんでいるのかを調べて
川のきれいさを知ってみよう！



亀山市が人と自然が調和した心安らぐまちであると、皆さんは感じていますか。市では、その状況を把握するために、人体や生き物に影響を与える水質・空気の調査、生活環境に影響を与える騒音・振動の調査など、さまざまな環境に関する調査を定期的に行っています。

そこで今回は、亀山の豊かな自然を生み出す源のひとつである鈴鹿川の水質について、水生生物の生息の観点からみてみましょう。

問合せ 環境産業部環境保全室 (☎82-8081)

水生生物による水質判定

川の生き物は、水質状態によってすんでいる種類が異なります。どのような生き物がすんでいるかを調べれば、その地点の水質を知ることができます。

水の汚れに敏感な生き物の中から、全国に広く分布している代表的な29種類を指標生物とし、その生息状況から「Ⅰきれいな水」、「Ⅱややきれいな水」、「Ⅲきたない水」、「Ⅳとてもきたない水」の4つの水質に判定できます。



※線の長さは実物の大きさの目安です。

「Ⅰきれいな水」の指標生物

水は透明で、川底まで見え、皆さんが川の中に入って遊びたくなるようなところです。



サワガニ



カワゲラ類



ブユ類

「Ⅱややきれいな水」の指標生物

周りには田んぼがあって、水がやや濁っているようなところです。



ゲンジボタル



ヒラタドROMシ類



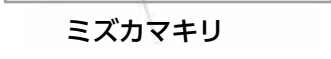
コオニヤンマ

「Ⅲきたない水」の指標生物

排水路が川につながっていたり、周りには多くの人家が見られたりするようなところです。



シミシビル



ミズカマキリ



タニシ類

「Ⅳとてもきたない水」の指標生物

周りには工場なども多く、人がたくさん住んでいるようなところです。



エラミミズ



サカマキガイ



タニガワカゲロウ類

出典：環境省「川の生きものを調べようー水生生物による水質判定ー」

鈴鹿川の様子をみてみよう！

市瀬橋周辺にすんでいる生物



山下橋周辺にすんでいる生物



国道 306 号亀山大橋周辺にすんでいる生物



調査の結果

鈴鹿川にすんでいる生き物たちは「I きれいな水」に分類される種類が多く、鈴鹿川がきれいな水であることがわかりますね！
川は、生活排水やごみのポイ捨てなどにより簡単に汚染されてしまいます。きれいな鈴鹿川を守っていくために、今後も皆様のご協力をお願いします。



「亀山の自然環境を愛する会」に鈴鹿川について聞いてみました



鈴鹿川は「浅くて、蛇行した緩やかな流れ」が魅力です。きれいな水に魚が行きかい、岸边に網を入れると清流の魚がたくさん入り込みます。
子どもたちにとっては、魚とりをしたり水遊びをしたりするなかで、多様な魚・鳥・草花との出会いがあり、プールでは味わえない体験がそこにあります。
このように鈴鹿川を楽しむのは「きれいな水」と「生き物に適応した構造」があるからです。また、鈴鹿川に自然という“癒し”と“幸せ”を感じられるのは、亀山の人々の「守る心と努力」のおかげだと思います。
※「亀山の自然環境を愛する会」は、子どもたちと一緒に生き物調査などを行い、自然の大切さや楽しさを知ってもらっています。また、鈴鹿川水系の調査を行うなど、鈴鹿川に関するさまざまな活動をしている市民活動団体です。